

建物大規模改修情報管理システムの内製開発 米満誠

香川大学医学部管理課電気係

1. 業務分析および課題発見

業務分析：

建物改修に伴い、以下の問題（トラブル・困りごと）が発生

- ・施設担当：改修後及び移転先の什器等配置の調査が必要
- ・用度担当：移転用什器情報の収集、新規購入物品の把握

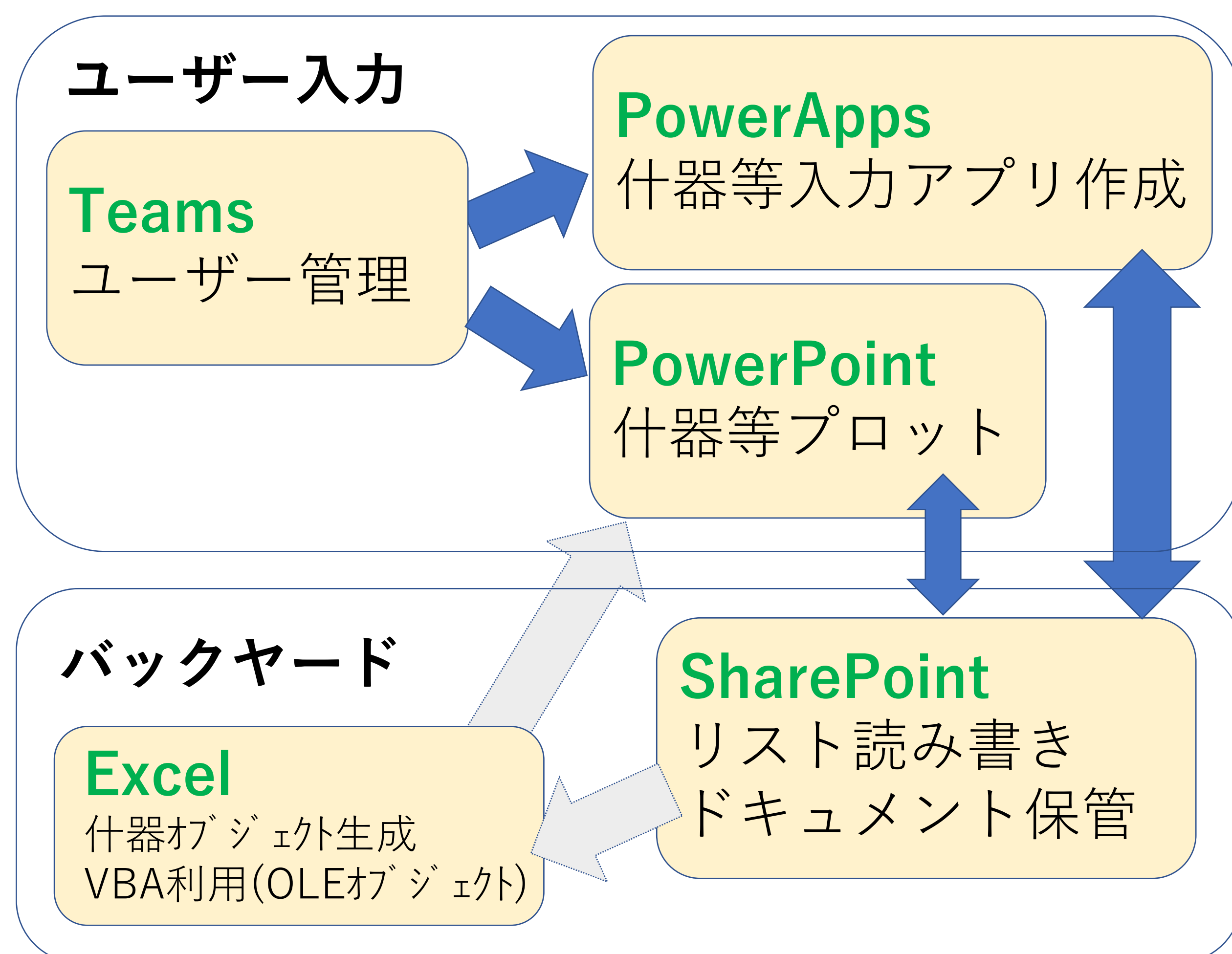
→情報が部門ごとに分散しており、収集・確認作業に時間と手間がかかっている
→複数の担当者が別々に作業することで、非効率な業務となっている

課題：

これらの情報収集を一元化し、
依頼する事務職員、記入する
ユーザー双方の作業負担を軽減
する仕組みの構築

2. システム構成および利用画面

- ・PowerAppsによる什器情報収集入力アプリ
- ・SharePointリストへの一元的データ保管



データフロー：

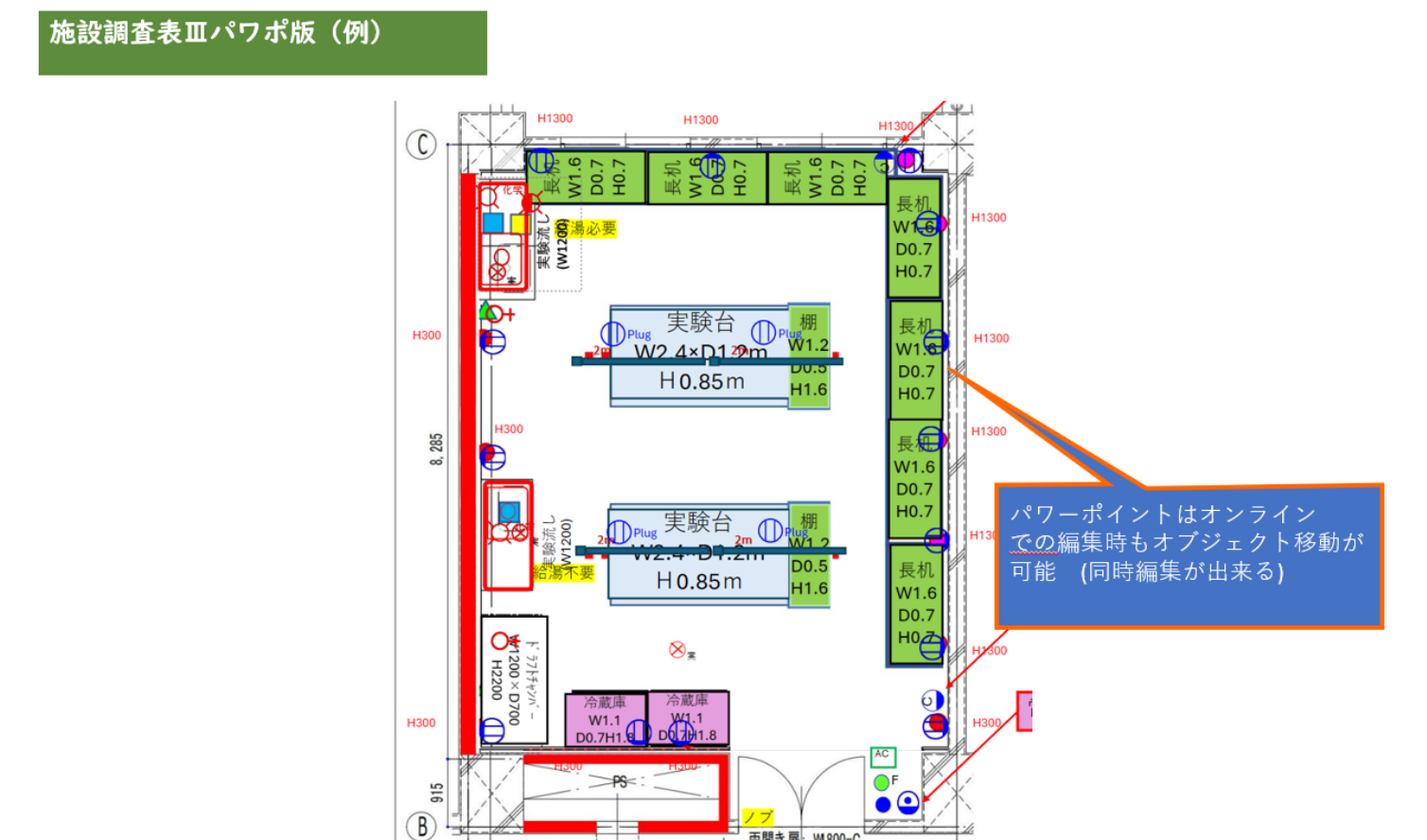
- ・Office365ユーザー認証
- ・講座名による部屋の自動抽出
- ・部屋特定後の入力開始
- ・施設調査票I～IIIの統合管理

技術的工夫：

- ・ExcelVBAによるPowerPoint什器オブジェクト生成
- ・1/50スケール図面の自動レイアウト
- ・Teamsによる講座別プライベートチャネル



入力用キャンバスアプリ
(PowerApps)



PowerPointによる什器プロット

3. 成果・改善されたこと

Before

- ・紙ベースの記入・メール送付
- ・複数の担当者による分散作業
- ・書面の整理・保管の手間

After

- ・完全電子化による効率化
- ・一元化された情報収集
- ・柔軟な入力者管理

工数削減効果

メールやり取りの低減
ファイル保管の低減
書面整理の手間低減

システム効果

紙のやり取りが減少
最初から最後まで電子化
入力者管理の効率化

PowerAppsキャンバスアプリ → SharePointリスト → 設計・移転作業に活用

4. まとめと今後の展望

達成したこと：

- ・実質的に全てオンライン化を実現
- ・約40講座の教員・職員への対応
- ・約200室分6300アイテムの情報収集

今後の課題：

- ・ExcelVBA作業の自動化
- ・PowerApps出力形式の改善

展望：

一過性の業務対応として作成したが、得られた知見・ノウハウは業務効率化・標準化に活用可能